

報道機関各位

青森県立美術館
パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局青森県立美術館 映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映＋トークショー
4月27日（土）開催について

標記について下記のとおり開催いたしますので、告知および取材について御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 事業名
映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映＋トークショー

2 事業内容

青森県立美術館では平成25年度映画事業として『映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映＋トークショー』を開催いたします。

当日は、映画の上映とともに、大林宣彦監督をお迎えし、映画の原作者でもあり当館舞台芸術総監督でもある長谷川孝治とのトークショーを行います。

日	時	平成25年4月27日（土） ＜映画上映＞13:00 開演（12:30 開場）※15:40 上映終了 ＜トークショー＞15:55 開始（16:55 終了予定）
場	所	青森県立美術館シアター（青森県青森市安田字近野 185）
上映作品		「この空の花 ー長岡花火物語」
トークショー登壇者		大林宣彦（映画作家・「この空の花 ー長岡花火物語」監督） 長谷川孝治（青森県立美術館舞台芸術総監督・「この空の花 ー長岡花火物語」原作） 橋本康成（青森放送）／聞き手
料	金	前売一般 1,200 円 前売学生 1,000 円 （当日各 300 円増）※限定 220 席

※小・中・高校生は事前申込により、先着 60 名様まで無料招待いたします
※詳しくは別添「企画概要書」をご覧ください。

3 取材に当たって
上映会当日に取材を希望される社は、来場前に御連絡くださいますようお願いいたします。

報道機関用提出資料（連絡先）

担当	観光国際戦略局 青森県立美術館 舞台芸術企画課 （青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会） 小笠原真理子、齋藤耕平
----	--

電話番号	017-783-5243
------	--------------

報道監	観光国際戦略局 報道監 次長 高坂 幹（内線 4701）
-----	------------------------------

取材申込書

取材を希望される社は、取材申込書を FAX するか、来場前に御連絡下さいますようお願いいたします。

社名	取材者名	その他 撮影クルー等の人数

【映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映＋トークショー】

日時：平成 25 年 4 月 27 日（土）13:00 開演〔12:30 開場〕

会場：青森県立美術館シアター

- ・フラッシュ不可
- ・エリア指定あり

緊急連絡先電話番号

担当：齋藤 耕平（電話 017-783-5243）

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会
齋藤 耕平 行き

FAX 017-783-5244



映画「この空の花 —長岡花火物語—」

大林宣彦監督来館！

トークショー付き上映会

企画概要書

2013年4月27日（土）開催

AOMORI MUSEUM OF ART / Performing Arts / cinema

【事業についてのお問い合わせ先】

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局（担当：齋藤耕平）

〒038-0021 青森市安田字近野 185 青森県立美術館内

電話 017-783-5243（直通 9:00~17:00）

FAX 017-783-5244

Eメールアドレス ko_saito@aomori-museum.jp

【土日・祝祭日のお問い合わせ先】

プロデュース担当：小笠原 真理子（携帯：090-7336-7455）

1 概要

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会では、平成 25 年度映画事業として『映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映＋トークショー』を 4 月 27 日（土）に開催いたします。

映画「この空の花 ー長岡花火物語」は 2011 年に公開された大林宣彦監督作品です。「長岡の大花火」としても有名な新潟県長岡市を舞台に、現実と幻想が入り混じった世界の中、人々の抱えた「痛み」がやがて、夏の夜空に咲く大花火によって昇華されていく様子が描かれます。

大林宣彦監督は「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」の“尾道三部作”をはじめ数々の名作を世に送り続けている日本を代表する映画監督の 1 人です。また本映画の原作を、当館舞台芸術総監督の長谷川孝治が担当し、青森県弘前市を拠点に活動をする「豊田一輪車クラブ」が華麗な一輪車技術を披露し、作品に彩りを添えています。青森県内では、昨年、弘前市内の映画館にて 2 週間公開され、今回の上映会はそれ以来約 1 年ぶりの上映となります。

また上映後には、大林宣彦監督を青森県立美術館にお招きし、長谷川孝治とのトークショーも行います。この作品を経て、現在もコラボレーションを続けている両名から、さまざまな興味深いお話が飛び出す予定です。

●開催日時： 2013 年 4 月 27 日（土）13：00～16：55（開場 12:30）

13:00～15:40	映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映
15:40～15:55	休憩
15:55～16:55	大林宣彦×長谷川孝治 トークショー
16:55	終了

※当日の状況により、終了時刻等が多少前後する場合があります

●会場： 青森県立美術館シアター（青森市安田字近野 185）

●客席数： 220 席（全席自由）

※当日の受付は、シアター前に設置いたします。

※12:30 開場。受付順にご入場いただきます。

●主催： 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会

●上映作品： 「この空の花 ー長岡花火物語」

（本編 160 分／2011 年／日本／カラー／アメリカンビスタ）

※キャスト等の詳細は、別紙 1 に記載

あらすじ

天草の地方紙記者・遠藤玲子（松雪泰子）が長岡を訪れたことには幾つかの理由があった。ひとつは中越地震の体験を経て、2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災に於いていち早く被災者を受け入れた長岡市を新聞記者として見詰めること。そしてもうひとつは、何年も音信が途絶えていたかつての恋人・片山健一（高嶋政宏）からふいに届いた手紙に心惹かれたこと。山古志から届いた片山の手紙には、自分が教師を勤める高校で女子学生・元木花（猪股南）が書いた『まだ戦争には間に合う』という舞台を上演するので玲子に観て欲しいと書いてあり、更にはなによりも「長岡の花火を見て欲しい、長岡の花火はお祭りじゃない、空襲や地震で亡くなった人たちへの追悼の花火、復興への祈りの花火なんだ」という結びの言葉が強く胸に染み、導かれるように訪れたのだ。こうして 2011 年夏。長岡を旅する玲子は行く先々で出逢う人々と、数々の不思議な体験を重ねてゆく。そしてその不思議な体験のほとんどが、実際に起きた長岡の歴史と織り合わさっているのだと理解したとき、物語は過去、現在、未来へと時をまたぎ、誰も体験したことのない世界へと紡がれてゆく！

受賞歴

- ・第 4 回 TAMA 映画賞 最優秀作品賞
- ・第 34 回 ヨコハマ映画祭 2012 日本映画個人賞 特別大賞
- ・第 1 回 池田人権映画祭 最優秀作品賞

●トークショー登壇者： 大林宣彦（映画作家・映画「この空の花 ー長岡花火物語」監督）

※プロフィールは、別紙 2 に記載

長谷川孝治
橋本康成

（青森県立美術館舞台芸術総監督・映画「この空の花 ー長岡花火物語」原作）
（青森放送制作局長）／聞き手

2 チケットの購入・ご予約について

チケットは、下記プレイガイドでの前売りチケット販売の他、事務局予約も受け付けております。

①料金

	一般	学生	予約学生 60 名まで
前売	1,200 円	1,000 円	無料
当日	1,500 円	1,300 円	なし

②前売チケット販売について

下記の 4 店舗にて、販売中【4 月 26 日（金）まで】

青森市	サンロード青森／成田本店しんまち店／青森県立美術館ミュージアムショップ
弘前市	日弘楽器

③事務局予約について

事務局あての E メール・FAX・電話のいずれかの方法にて、前売チケットのご予約が可能です。

ご予約の方は、当日受付にてお名前をお申し付けいただき、ご精算の上、チケットをお受け取り下さい。

- | | |
|--|---|
| <p>(1) ご予約者（代表者）氏名
(2) 観覧希望人数（一般■名・学生■名＜うち招待希望■名＞）
(3) ご予約確認のための連絡先（メールアドレス／FAX／電話番号のいずれか）</p> | } |
|--|---|

以上の 3 点を事務局までお伝えください。

受付は 4 月 26 日（金）17 時までとさせていただきます。

【予約受付先】

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会事務局

電 話：017-783-5243（平日 9:00～17:00）

F A X：017-783-5244

E メール：eiga@aomori-museum.jp

【小・中・高校生 先着 60 名様までの無料ご招待について】

未来を担う子供達に、劇場でしか味わえない臨場感を体感していただくことを目的に、県内の小・中・高校生の皆様を先着 60 名様まで、無料にてご招待いたします。

※「小・中・高校生無料ご招待」は、事務局のみでの受付となります。

※4 月 26 日（金）17 時までの受付となります。但し、申込定員の 60 名に達し次第、受付を終了させていただきます。

※【前売】【予約】【招待】いずれの場合も、良席を保証するものではありません

※お申込みの氏名・連絡先等の個人情報 は 厳重に管理し、今回の企画以外の目的では使用いたしません。

3 その他

当日、会場にて本映画のパンフレット・サウンドトラック CD を販売いたします。

主 催：青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会

プロデュース：小笠原真理子

映画「この空の花 ―長岡花火物語」(本編 160 分/2011 年/日本/カラー/アメリカンビスタ)

※ホームページ <http://www.konosoranohana.jp/>

キャスト

松雪泰子 高嶋政宏

原田夏希 猪股南(新人) 寺島咲・笹野高史 池内万作 星野知子 根岸季衣・笈利夫 森田直幸
尾身としのり村田雄浩 細山田隆人 並樹史朗 綾田俊樹 坂田明 石川浩司 野口ふみえ 高橋長英 品川徹
勝野雅奈恵 油井昌由樹 渡辺大 ベンガル蓮佛美沙子 鈴木聖奈 三浦景虎 小磯勝弥 大谷賢治郎 松岡哲永 高城ツヨシ 青木峻
岡村陽一 宮奈々子 内田周作 入江若葉 小笠原真理子 厚木拓郎寺田伽藍 大谷瑠奈 草刈麻有 石丸椎菜 小林優斗 高橋和志 山崎紘菜 栩野幸知 大久保運
星豪毅 角替和枝・豊田一輪車クラブ

長岡市の皆さん 全国からのエキストラ参加の皆さん

柄本明 片岡鶴太郎 犬塚弘 藤村志保 草刈正雄 富司純子

スタッフ

監督	大林宣彦	
脚本	長谷川孝治 大林宣彦	
撮影台本	大林宣彦	
主題曲	久石譲	
主題歌	伊勢正三	
挿入歌	パスカルズ	
サックス演奏	坂田明	
編曲指揮	山下康介	
製作プロデューサー	大林恭子 (PSC) 渡辺千雅 (「長岡映画」製作委員会代表)	
制作担当プロデューサー	山崎輝道	
撮影	加藤雄大 三本木久城 星貴	
美術監督	竹内公一	
照明	山川英明	
録音	内田誠	
記録	今村治子	
編集	大林宣彦 三本木久城	
衣装	岩崎文男	
スタイリスト	菅井久子	
ヘアメイク	和栗千江子	
紙芝居	高橋直文	
スチール	千葉高弘	
一輪車指導	木村笑子	
花火指導	阿部正明 嘉瀬晃	
メイキングビデオ	大林千菜萁	
長岡戦史 監修	星貴	
助監督	佐野友秀	
監督補佐	竹下昌男	
製作参加	NST 新潟総合テレビ 長岡映画を応援する会 ナミックス 皆既日食を元気で見る会 北越紀州製紙 軽井沢 天空カフェ・アウラ	
製作	「長岡映画」製作委員会 PSC ©2011	
配給会社	PSC=TM エンタテインメント	
助成	文化芸術振興費助成金	

大林 宣彦（おおばやし のぶひこ）／「この空の花ー長岡花火物語」監督・脚本・編集

映画作家

1938年、広島県尾道市出身。

3歳のときに自宅で出会った活動写真機で、個人映画の制作を始める。1964年頃から TVCM の制作に携わり、2,000本以上もの作品を生み出す。1977年に公開された『HOUSE／ハウス』で劇場映画に進出。以後、『ねらわれた学園』（1981年）、『青春デンデケデケデケ』（1992年）、『理由』（2004年）をはじめとする数多くの作品をコンスタントに発表。なかでも、故郷で撮影された『転校生』（1982年）、『時をかける少女』（1983年）、『さびしんぼう』（1985年）は“尾道三部作”と称され、そのリメイク版“新・尾道三部作”も含め、多くの映画ファンたちに愛され続けている。また、第21回日本文芸大賞・特別賞を受賞した『日日世は好日』など、著書も多数発表している。2004年春には紫綬褒章を、そして2009年秋に旭日小綬章を受章。2011年、今作「この空の花ー長岡花火物語」を発表。現在も精力的に作品を発表し続けている日本を代表する映画監督。

長谷川 孝治（はせがわ こうじ）／「この空の花ー長岡花火物語」原作・脚本

青森県立美術館舞台芸術総監督・劇作家・演出家

1956年、青森県青森市（旧・浪岡町）出身。

1978年、劇団「弘前劇場」結成。全作品の劇作・演出を担当する。弘前劇場は、東京一極集中という演劇界の現状を打開すべく、結成以来、青森県を拠点に活動を続ける。共通語で書かれた脚本を俳優が自身の口語に翻訳して演じる手法で知られ、学校の職員室や葬式など日常的な設定で、地域の豊かな日常口語を活かした舞台に定評がある。1996年、第1回日本劇作家協会最優秀新人戯曲賞を『職員室の午後』で受賞。

また、幼少期、自宅であった映画館で多くの時間を過ごしたこともあり、映画への造詣も非常に深く、1992年～2006年開催の「中世の里なみおか映画祭」ではアソシエート・ディレクターも務めた。

2006年、青森県立美術館舞台芸術総監督となり、数々の演劇・ダンス・音楽作品の創作・上演、プロデュースを手がけ現在に至る。

今作に続き、大林宣彦監督の次回作に原作「野のななののか」を提供する。

橋本 康成（はしもと やすなり）／トークショー聞き手

青森放送（RAB）制作局長

1959年、三沢市出身。

1983年、青森放送にアナウンサーとして入社。1989年、ディレクターに転身。その後、ディレクターとパーソナリティを巧みに使い分け、日本テレビ「GATCHA！」RAB ラジオ「金曜ワラッター！」「木曜ワラッター！」青森放送「出会いふれあい生テレビ」を担当する。2001年に制作したドキュメンタリー「盲目の名馬タカラコスモス」で日本民間放送連盟賞テレビエンターテイメント部門優秀賞、2004年「じいちゃんばあちゃんと夏休み」で日本民間放送連盟賞テレビエンターテイメント部門優秀賞を受賞している。2006年には11年ぶりにラジオ「土曜ワラッター！」を復活させ、現在まで多くのリスナーの支持を集め続けている。

青森県立美術館
映画上映会+トークショー
大林宣彦監督来館!!

大林宣彦監督作品

この空の花火

世界中の爆弾が花火に変わったたら、
きっとこの世から戦争はなくなる。

2013年4月27日(土) 13時~16時55分

220席(全席自由)
青森県立美術館 シアター

長岡
花火物語

松雪泰子 高嶋政宏

©2011「長岡映画」製作委員会 PSC 配給：TMC PSC

原田夏希 猪股南(新人) 寺島咲 笹野高史 池内万作 星野知子 根岸季衣・寛利夫 森田直幸 尾美としのり
村田雄浩 緒山田陸人 並樹史朗 鏡田俊樹 坂田明 石川浩司 野口ふみえ 高橋長美 品川徹 勝野雅奈志 油井昌由樹 渡辺大 ベンガル
藤井美沙子 鈴木聖奈 三浦京亮 小磯勝弥 大谷賢治郎 松岡智未 高城ブロン 吉木純 岡村洋一 宮本マコト 内田剛作 入江若葉 小笠原真穂子 塚本祐都
寺田佳穂 大谷摩奈 泉乃麻有 石丸雅葉 小林優斗 長瀬和志 山崎健策 櫻野幸知 大久保運 原安藤 角替和枝・豊田一輪華クラブ
長岡市の皆さん 全国からのエキストラ参加の皆さん
柄本明 片岡鶴太郎 大塚弘 藤村志保 草刈正雄 富司純子

脚本：長谷川幸治 大林宣彦 撮影脚本：大林宣彦 主題曲：丸石謙 主題歌：伊藤正三 挿入曲：パスカルズ ナツクス演奏：坂田明 編曲指揮：山下徹介
制作プロデューサー：丸山由子 PSC 監以下層：「長岡映画」製作委員会代表 製作プロデューサー：山崎健策 監製：加藤雄光 二本木久城 監査：長岡監督 竹内由一
制作：山下真明 録音：内田誠 監録：今村裕子 編集：丸山由子 二本木久城 衣装：岩崎文子 スタイリスト：菅原久子 ヘアメイク：牧野千江子 純正計：高橋政文
メカニカル：千原高広 一輪車指導：水村孝子 花火指導：河野定典 音楽監：メイキングスタジオ 大林で音楽 長岡映画監製：原安 助監督：佐野友希 監督補佐：竹下真司
製作参加：NST新潟総合テレビ 長岡映画を応援する会 ナミックス 智恵日食全気象で見える会 北越紀州製紙 鶴井沢 天宮カフェ・ブクラ
制作：「長岡映画」製作委員会 PSC ©2011

<http://www.konosoranohana.jp>

助成：文化芸術振興費補助金



2011
大林宣彦
監督作品



市井の人々の"勇気と祈り"で平和を作り、何度でも繰り返し復興を送ってきた町、長岡。 いま、ひとつの、とてつもなく壮大な物語世界(ワンダーランド)の花が夜空に咲く!

天草の地方紙記者・高橋孝子(敬告孝子)が長岡を訪れたことには幾つかの理由があった。ひとつは中絶妊娠の体験を経て、2011年3月11日に起きた東日本大震災に共感という平く被賞者を受け入れた長岡市を新聞記者として見届けたいこと。そしてもうひとつは、何年も昔懐かしく感じていたかつての恋人・片山健一(高橋孝子からふい)に届いた手紙に心を動かされたこと。山古志から届いた片山の手紙には、自分が教師を務める高校で女子学生・元木花(原敬節)が書いた「お前戦争には関わり合おう」という手紙を上着るので孝子に書いて欲しいと書いてあり、更には念の上にも「長岡の花火を見て欲しい、長岡の花火はお祭りじゃない、空襲や地震で亡くなった人たちへの追悼の花火、復興への祈りの花火なんだ」という結びの言葉が強く胸に染み、涙が溢れるように書かれたのだ。こうして2011年夏、長岡を訪れる孝子は行く先々で出会う人々と、数々の不思議な体験を重ねてゆく。そしてその不思議な体験のほとんども、実際に起きた長岡の歴史と結び合っていていくのだと理解したとき、瞬間は過去、現在、未来へと時をわきま、誰も体験したことのない世界へと繋がれてゆく!



映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映+大林宣彦監督×原作長谷川孝治トークショー 2013年4月27日(土) 13:00~16:55(予定) 220席(全席自由) 青森県立美術館シアター



■大林宣彦
1977年のデビュー以降、「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」の“尾道三部作”をはじめ、「ねらわれた学園」「青春デンデケデケデケ」「理由」等、代表作多数。
OBAYASHI NOBUHIKO

聞き手 橋本康成
青森放送(RAI)制作局長。自らパーソナリティを務めるラジオ「土曜ワラター」は多くの支持を集め続けている。

■長谷川孝治
青森県立美術館舞台芸術総監督・劇作家・演出家。今作に続き、大林宣彦監督の次回作に原作「野のまななのか」を提供。
HASEGAWA KOJI



スケジュール 12:30ー 開場
13:00ー15:40 映画「この空の花 ー長岡花火物語」上映(本編160分)
ー15分休憩ー
15:55ー16:55 大林宣彦×長谷川孝治トークショー(聞き手：橋本康成)

料 金 (前売)一般1,200円・学生1,000円/当日300円増
前売券取扱 3月30日(土)より、販売開始。
青森市：サンロード青森/成田本店しみまち店/県立美術館ミュージアムショップ
弘前市：日弘楽器

チケット予約 実行委員会事務局ではメール・FAX・電話のいずれかの方法で、チケットのご予約が可能です。当日、受付にて現金価格でご購入いただけます。メール・電話の場合はFAX申込書の記載内容をお伝え下さい。なお、4月26日(金)17時までの受付とさせていただきます。

学生無料招待 ご予約された高校生までの学生、先着60名様を、無料でご招待いたします。予約時に「招待希望」の旨、お伝え下さい。ぜひこの機会に、大スクリーン上映の醍醐味に感じて下さい。
※【前売】【予約】【招待】いずれの場合も、良席を確保するものではありません。

会場へのアクセス方法
T038-0021 青森市安田字近野185
■JR新青森駅から
ループバスねぶたん号(左回り)新青森駅前バス停乗車「青森県立美術館前」下車(約10分)
■青森駅から青森市営バス青森駅前6番バス停乗車運転免許センター行き「青森県立美術館前」下車(約20分)
■青森空港から車で約20分
■東北縦貫自動車道青森ICから車で約5分

予約受付お問い合わせ先
青森県立美術館/フォーミングアーツ推進実行委員会(担当：齋藤耕平)
TEL: 017-783-5243(平日9時~17時)
FAX: 017-783-5244
Eメール: eiga@aomori-museum.jp
ホームページ: www.aomori-museum.jp
主催：青森県立美術館/フォーミングアーツ推進実行委員会
プロデュース：小笠原真理子

FAX申込用紙

氏名(ふりがな)	観覧希望者 一般	人/学生	人(うち招待希望)	人)
連絡手段 1.メール 2.FAX 3.電話 連絡先 ()				

※ご予約受付完了のご連絡をいたします。日中、連絡のつかない場合はご連絡下さい。
※お申込みいただいた、氏名・連絡先等の個人情報は、厳重に管理し、今回の企画以外の目的で使用いたしません。